



発行所 紀南教会瓦版
 編集委員 山田辺市
 編集和歌山県田辺市
 下屋敷町80
 TEL/FAX
 0739-25-1191
 050-3391-6533

二〇一〇年が明けて早二月が終わろうとしています、この瓦版も七年目に入りました。これで良いのかと自問しながらの六年。只一つ言えることは、毎号、一生懸命に取り組んでいます。今年ももう少し目先を変えて見たいと思っっているのですが、具体的な案は現時点では浮かんできません。「主よ導きください」と祈っています。

今年もお付き合い下さいますよう、御願いたします。

編集委員

【父が遺してくれた言葉】

父は三十七年前に召されました。六八歳でした。とても厳しい父でした。「ああもう嫌だ!」と思う時が再びありました。子供に厳しかった以上に、父は自分自身にも厳しかったと今思います。

本棚に父がくれた辞書「広辞林」と「讃美歌」があります。家族と一緒に暮らして

ていた頃、本を読む時や手紙を書く時に父の辞書を借りました。ある日、お前は、いつも新辞林で引いているけど広辞林の方が良いから、これをお前にやる」と父が広辞林をくれました。父はお酒・タバコが大好きで、お酒の相手をしている内に私も結構飲めるようになってきました。飲みながら父は

政治、世界情勢、人としての常識等、沢山の話をしてくれました。ある時、唐突に「山に登る途中と、頂上に着いた時の気持ちはどうや」と聞きました。「登っている時は苦しくてしんどくて来るんじゃないかったと思うけど、頂上に着いて風に当たり下界を見たら今までの苦しい

ことは聖書に書いてある、聖書は人としての道を教えてくれる」と言ってくれました。私の手元には、広辞苑と聖書がいつもあります。でも六法はありません。「思い出によって苦しむ人にはなるなよ。思い出で苦しむ事ほど人としての不幸はない、その時は苦しんで投げ出したかったら、山登りの様に必ず良い思い出になる。登山の時のアルバムを見て、この時は苦しかったなあと、良い思い出で甦ってくる。人生はアルバムを見るが如く!思い出によって苦しむ人になるなよ」と言っていて、お酒をクイツと飲み干した。「うん」と言っ

て、「御国(オソク)に帰りし父よ語りませ 病(ヤ)むこの身に せめて夢路で」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をしなさい」(ルカ五 四) イエスは何かという言葉を言われたのでしょうか。これはペトロにとつて、最も無神経な、腹立たしい言葉でした。「疲れただろう。早く家に帰って、シャワーでもしてゆっくり休みなさい。」というようなねぎらいの言葉ではなかった。これは挑戦的な言葉です。夜通し働いても何も取れなかった者に対して、再び出て行って漁をしなさい、とは酷な話です。しかし、ペトロはその時、このように答えたのです。先

生、わたしたちは夜通し苦労しましたが、何も取れませんでした。しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう。「まさにペトロはこう言わんとしたので、もう一度漁をしても、

プロの漁師であるペトロや仲間達が、夜通し、あの手に、この手で一生懸命あちこちに網を降ろしたのに、何も取れなかった。そのペトロが、あなたのお言葉です。もう一度漁をしてみましよう。

葉ではありません。ペトロは何故このような言葉が言えたのでしょうか。その前に、イエスがペトロの舟の中から浜辺の群衆に話された説教を聞いています。ただ、ペトロの中で、

一度沖に漕ぎ出して漁をしなさい、このイエス様の言葉が神の言葉として彼の中に響いたのでしよう。私達も仕事に行き詰まる時、しばしば自信を失い、仕事の不安、生活の不安、将来の不安、これからどうなるのだからか、と思ってしまう。さらに絶望的な行き詰まりを覚え、もうダメだ、全く良くなる見込みがない、悪くなる一方だ、投げだし逃げ出したい。夜明け前が最も暗い。ところが、今は何時かさえ分からない。後何時間すれば夜明けだと分かっている

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

み言葉を信じて

紀南教会牧師 上山 耕司

結果は分かりきっています。しかし、あなたのお言葉ですから、網を降ろしてみましよう。

う!と言ったのです。これはイエス様に対する、ペトロの信仰告白です。決して普通の常識から出てくる言

それまで考え求めてきたこと、この度の不思議なほど何も取れなかった事、イエス様の説教、そして、もう

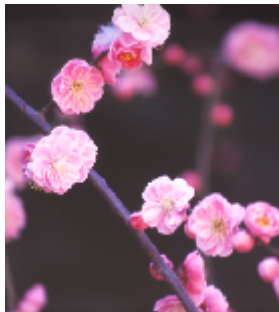
「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」

「主はわたしの牧者であつてわたしには足りないことがない。主はわたしを牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しき道に導かれる。たとひわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。」



ホット・ウォーター

二〇一〇年の全国大会から版、二〇〇三年の教会堂献堂五十周年記念誌での経験から、紀南教会に繋がる兄弟の声をみんで共有する場を作りたいなあ、「じゃ、善は急げ早速作る」と二〇〇四年二月にこの紀南教会瓦版の第一号が発行されました。それから丸六年、この最初の「思い」がみなさまと共に生き続けていることを祈りつつ感謝して、次号は、五月三十日発行です。